

※このメールマガジンはMSゴシック等の等幅フォントでご覧ください。

★もくじ★

〔1〕 1分で分かる姫路河川国道事務所の仕事「所長の一分メモ」
より良い品質を適正な価格で

〔2〕 お知らせ
事務所HPのサイト「ナガボテンツキ、フジバカマ生育記録」を見て下さい。

〔1〕 所長の一分メモ file16

国道2号、29号や揖保川、加古川そして東播海岸を管理している姫路河川国道事務所では、姫路北バイパスの工事など、多くの土木工事を一年間に発注します。土木工事は注文生産方式なので、まず工事をしてくださる企業と契約する必要があります。

契約の相手をどうやって決めるかという、まず工事の発注予定を事前に公表し、免許や資格の保有条件などを満たした企業が自由に入札に参加（一般競争入札）し、価格と腕前を競争（総合評価）してより良い品質の工事を適正な価格で実施出来る企業を特定し、契約に至ります。

この方法は国土交通省では一般的になりましたが、5年ほど前までは、過去の工事実績などを評価した上であらかじめ発注者が入札参加企業を選定（指名競争入札）し、その企業間で入札価格の最も安い企業に発注する方法でした。

この方法では、工事を受注したいと思う企業すべてが入札に参加できないことや、競争に勝つために赤字覚悟で低い価格で入札する企業が出るなど問題も多く、雑な工事や事故の発生を防ぐ必要もあり現在の方法に転換したところです。

新たな発注方法では、入札価格に加え、企業の技術力や経験が評価されるため、頑張っている企業や優秀な人材をもった企業が評価されます。

7月18日（金）には、平成19年度に姫路河川国道事務所が発注した工事や業務で、優秀な成果をおさめられた6つの企業が表彰されました。心より感謝申し上げます。そして、国民の皆様が安心して生活できるよう、品質の良い社会資本を整備して参ります。

* 「優良工事等施工者の表彰式」については、当事務所ホームページ「話そうはりま」(<http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/>)の「トピックス」にも記事が記載されています。是非、ご覧ください。

〔2〕 お知らせ

「ナガボテンツキ、フジバカマ生育記録」をアップしています。

ナガボテンツキは、近畿レッドデータブックで絶滅危惧種A、兵庫県レッドデータブックでAランクのテンツキに似た湿地に生育する植物です。

姫路河川国道事務所では、『絶滅からの再生か！』『ナガボテンツキの移植プロジェクト』として、平成20年3月8日土曜日に、兵庫県立「人と自然の博物館」服部 保教授のご指導の下、事務所職員・地元ボランティア約20人とともに、加古川下流部に試験的にナガボテンツキを数株移植しました。

また秋の七草の一つで、同じく絶滅を危惧されている多年草、フジバカマも同日加古川下流部と小野市粟生町の河川敷に数株移植しました。

